

岩手県立胆沢病院の基本理念

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

令和5年度サイバー攻撃対応訓練の実施について

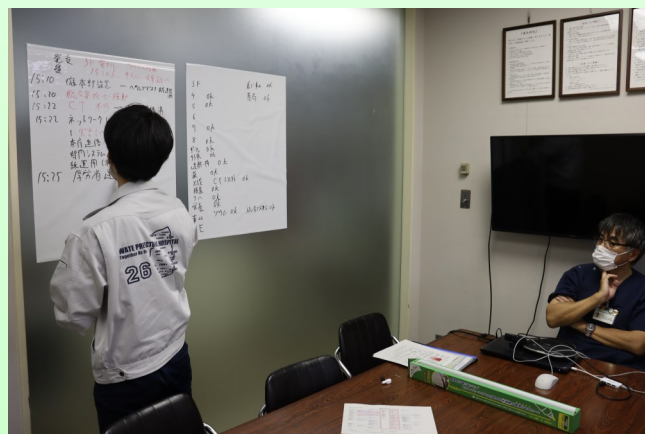
ランサムウェア等のサイバー攻撃が近年国内でも発生していることや、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」で訓練の実施が定められていることを踏まえ、令和5年10月26日（木）に初めて訓練を実施しました。

訓練内容は、発生時の初動対応を中心とし、院内の被害状況確認及び医療局医事企画課等外部への連絡体制等、訓練を通じ、病院職員の意識高揚及びマニュアルの改訂を図ること目的に計画したところです。

訓練では、対策本部の立ち上げ時における招集対象職員の拡大や、院内システムが使用できない中で職員間の情報伝達、紙伝票移行時の対応等さまざまな課題が出されました。

また、訓練の準備段階においても、作成してから一定期間見直しがされていないシステム障害発生時の対応マニュアルの見直しや、院内・院外ネットワークの遮断方法の確認、関連するシステムの洗い出し等、改めて一括管理しておくべき項目もありました。

今後も発生防止に向けた安全管理体制の整備は基より、定期的な訓練の実施による院内の現状把握と発生時に被害を最小限にするための行動の見直しに努めてまいります。



胆江地区緩和ケア研修会の開催について

緩和ケア研修会は、がんその他の特定の疾病において適切に緩和ケアが提供されるよう、がん等の診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を修得することを目的に開催されています。

胆沢病院では、がん診療連携拠点病院として地域の医療従事者を対象に毎年開催しています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は開催を中止、2021年度、2022年度は胆沢病院の職員のみを対象に縮小し開催していました。今年度は、以前と同じく地域の医療従事者を対象とし、奥州医師会共催のもと、11月5日（日）に開催しました。指導には緩和医療に携わっている医師、緩和ケア認定看護師、がん看護専門看護師をはじめとする多職種で構成する協力者があたりました。

今回は、当院を含め4医療機関、1調剤薬局から15名（医師9名、看護師5名、薬剤師1名）の方が参加しました。研修会はワークショップを中心としたもので、活発な意見交換が行われました。講義については事前にe-learningを受講してもらう形になっています。

緩和ケア研修会は毎年開催しており、開催時期も同じ頃を見込んでおります。開催が近くなりましたら各医療機関等にご案内いたしますので、医師をはじめ多職種の方の参加をお待ちしております。



年末年始の診療体制について

下記の期間、外来診療（全科）を休診し、日当直医師による救急診療体制となります。救急のご紹介の際は、中央処置室にご連絡をお願いいたします。

12/28 (木)	12/29 (金)	12/30 (土)	12/31 (日)	1/1 (月)	1/2 (火)	1/3 (水)	1/4 (木)
診療	休診	休診	休診	休診	休診	休診	診療



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180（紹介センター専用）

URL <http://www.isawa-hp.com/>